



今も変わらずカリヨンの音色を響かせる塔屋の向こうに、遙か劔岳を望むことができます。その劔岳に届けとばかり、子どもたちの歌声が響きます。

昭和58年4月に歩み出した陽南小学校は、大岩と柿沢両地区及び上市町の皆様により、愛され励まされて30年もの歳月を数えました。

これまで、10年の節目を迎えるたびに、本校の歴史と実績が整理されてきました。その時々々の教育活動に関わっていただいた先輩方及び地域の皆様のご尽力に対し、深く敬意を表します。そして、30年の記念すべき年を皆様と共に祝える喜びを、しみじみと噛み締めながら今日を迎えました。

本年度の春先、子どもたちに「この特別な年に、たくさんの思い出づくりをしましょう」と呼びかけました。その約束を果たすために、受け継がれてきた教育理念や校風、特色ある行事や活動、美しい環境などの意義や価値を正し、更なる効果を挙げようと努力してまいりました。

本校教育の原点は、「太陽の子」を目指す教育です。

この10年の間に名誉町民でいらっしゃる故清水美晴先生から「『太陽の子』の誓い」として、子どもが目指す姿を明確にさせていただきました。時代が如何に変わろうとも、この原点に立った教育は変わらないものです。

例えば、創校当時から推進された体力づくり活動は、現在は縄跳び運動、鉄棒運動、竹馬・一輪車乗りを中心に「たくましく強い子」を目指しています。また、平成2年から訪問している常楽園の花苗植えや総合的な学習の時間の交流を通して「人のためにつくす子」を目指しています。平成9年に復活した田植えや稲刈りの体験活動は、現在も天日干し、脱穀、餅つき、会食までを通して「太陽の恵みに感謝」しています。更に平成14年に20周年を記念して作られた「陽南讃歌」を今も大きな声で歌っています。

昨今は、地域教育力の低下が危惧されておりますが、子どもたちには「地域をもっと知ろう、顔見知りを増やそう」と呼びかけ、「こども110番の家」や「陽南パトロール隊」、放課後子ども教室でお世話いただいている皆様をはじめ、広く校区に出かけて挨拶運動を展開しております。そして、その効果を少しずつ実感しております。

おわりに、創校30周年記念事業の実施にあたり、ご理解とご協力を賜りました校区及び上市町関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後とも本校教育の充実と発展のために変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



創校30周年を祝して

後援会長 野村 利正



陽南小学校が創校30周年を迎えること、心よりお祝いを申し上げます。早いものでもう30年も経ったかと思ひ、創校当時のことが昨日のように思われてなりません。また、このたび記念誌を発刊されますことは誠に意義深いことでもあります。

当時は、落成記念事業実行委員会も設立され、私も微力ながら実行委員の一人として携わってまいりました。創校にあたり何回となく実行委員会が開かれ、熱心に審議されたことは深く記憶に残っています。

特に、校名の問題や設備・備品の充実等がそうでした。校名の問題にはいろいろな意見が出ましたが、結果的には「太陽のように、明るく育つように」と「陽南」と名付けられました。また「鐘の塔高く」と校歌にもあるとおり、日々鳴り響いているカリヨンの鐘については、他の建築物と一体化されていない単独の鐘楼建築物に、演奏用の鐘としてヨーロッパにある鐘と建築物を参考にして設置されたと言われております。

子どもたちもこの鐘の響きを聴きながら、健全に育つように願っております。

後援会も及ばずながら、当校と地域が連携を密にしながら教育環境をよくするために努めていく所存でございます。

この節目を契機として、当校がますます発展されんことを祈念し、お祝いのご挨拶といたします。

創校30周年を祝う

PTA会長 佐伯 浩二



このたび、陽南小学校がめでたく創校30周年を迎え、当校PTAを代表してお祝い申し上げます。

昭和58年4月に、柿沢小学校と大岩小学校が統合して、30年経ちました。時が立つのは早いもので、第一回卒業生の私がPTA会長を務めさせていただくことに、光栄かつ運命的なものを感じております。

当時を振り返ると、新しい校舎、陽南小学校のシンボルとも言えるカリヨンの鐘、設備の整った放送室、全校児童で給食を食べるランチルーム、何もかもが新鮮で感動的でした。

創校以来、これまでの校長先生、教職員、後援会、地域住民、PTA会員など、多数の皆様方のご苦労やご努力のおかげで、30年の歴史を刻み、よき伝統を創り上げていただいたことに対して深く感謝申し上げます。

さて、近年は未婚者の増加と少子化により、人口減少という社会現象が起きております。当校においても、創校時の全校児童168名に対して、現在は残念ながら52名にまで減ってしまいました。この先も、陽南の里団地による一時的な増加はあると思いますが、10年後、20年後はどうなるのだろうか心配するところです。当校を卒業した子どもたちが、いずれ保護者となりこの地域を支えてくれることを切に願います。

おわりに、当校が今後も歴史と伝統を刻み、ますます発展されることをご祈念申し上げますとともに、関係各位には今後ともご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



このたび、陽南小学校が創校30年を迎えられ、その記念誌を発刊されますことは、誠に意義深いことであり、衷心よりお祝いを申し上げます。

陽南小学校の歴史をたどりますと、明治6年の学制に始まる大岩小学校と柿沢小学校が百有余年の歴史を閉じて統合され、昭和58年に新たに陽南小学校として創校されました。その後、校名に込められた「太陽のように明るく、たくましい子どもを育てる」という思いをつなぎ、輝かしい校風を築いてこられました。

このことは、ひとえに歴代の教職員と地域の皆様の揺るぎないご努力の賜であり、上市町として深く感謝申し上げます。

さて、「子どもは地域の宝」とよく言われますが、次代を担う子どもたちのために望ましい環境を整えることが、行政の努めであります。町では、平成23年度より第7次上市町総合計画を開始し、町の将来像を「『確かな地域力』で創る 存在感あふれる上市」と定め、「自然と共生するまちづくり」「若者が定住するまちづくり」「みんなで支えあい、みんなで拓くまちづくり」を町民の皆様と協働し積極果敢に取り組んでいるところであります。

なかでも、学校教育につきましては、家庭・学校・地域が密接に連携し、基礎的な学力・生活習慣の定着を基本に、情報化、国際化等といった急速な社会の変容に柔軟に対応できる教育を推進し、生きる力と生涯にわたって学び続ける意欲を子どもたちに育みたいと考えております。そのため、多岐にわたる体験活動などの教育内容と学校設備の充実に努めております。

ご承知のとおり、陽南小学校区は大岩山日石寺や弓の里歴史文化館をはじめ、柿沢古墳や弓庄館城跡などがあり、古来より歴史と文化が薫る地域であります。町でも大岩川千巖溪の整備や「劔・きらめきの森」の指定など、これらの地域資源を活用する取組を始めているところであります。当校でも地域資源を教材として、総合的な学習の時間や行事等で大いに活用され、ふるさと教育に邁進されていると伺っており、心強く感じ入ります。

また、陽南町営住宅のような住居環境の整備、子育てしやすい環境づくりにも取り組み、積極的に若者定住を図りながら地域の活性化を目指しているところであります。

いずれにいたしましても、住民の皆様と行政とが協働でまちづくり・人づくりを行うことが、存在感あふれる上市を創り上げる礎となり、子どもたちが誇りをもってこの上市町で生活してくれることになると考えております。

おわりに、陽南小学校の一層のご発展と関係各位のご活躍を祈念してお祝いの言葉といたします。

